【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和5年2月14日(2023.2.14)

【国際公開番号】WO2021/221079
【出願番号】特願2022-518100(P2022-518100)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｂ 19/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｂ 19/10 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月18日(2022.2.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
金属材料で形成され、部品を取付部材の取付孔に取り付けるための留め具であって、
互いに対向する第１脚片および第２脚片と、
前記第１脚片および前記第２脚片の基端同士を連結する連結部と、を備え、
前記第１脚片は、
前記取付孔の縁に係止する係止部と、
前記部品に該留め具を抜け止めする爪部と、を有し、
前記爪部は、前記第１脚片の先端側から延出し、前記部品のボス部に形成された孔部に差し込まれ、
前記第２脚片は、前記部品のボス部に形成された孔部に差し込まれ、前記部品に該留め具を抜け止めする爪部を有さず、
前記第２脚片は、先端側から基端側に向かって延在するガイド面を含むガイド部を有することを特徴とする留め具。
【請求項２】
前記爪部は、
前記第１脚片の先端側から前記連結部に向かって延出する第１延出部と、
前記第１延出部から屈曲して前記第２脚片に向かって張り出し、前記孔部に差し込まれる第２延出部と、を有し、
前記第２延出部は、前記第１脚片および前記第２脚片の対向方向に対して傾斜し、基端側に向かって延出することを特徴とする請求項１に記載の留め具。
【請求項３】
前記爪部および前記ガイド部の最短間隔は、前記ボス部の厚さの８０パーセント以上で、１００パーセント未満の距離に設定されることを特徴とする請求項１または２に記載の留め具。
【請求項４】
前記ボス部を挟持可能な第１保持部および第２保持部をさらに備え、
前記第２脚片に形成された前記第２保持部の先端は、側面視にて前記ガイド面を延長した仮想線より前記第２脚片側の位置に設けられることを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の留め具。